

4-(1)-⑱ 教育力向上の取り組みの概要

区分	機能
第1回 学内研修会	<p>「学生が学ぶべき科目と目標設定 ～履修モデル(系統図)と能力要素」／平成 29 年年 6 月 7 日、教職員 44 名</p> <p>本学が目指す人材像の育成にむけて、どのように学ばせるか、適切な科目設定と履修・学修モデル構築と学生が主体的に学べるよう方向性や目的をしっかりと学生に理解させる、指し示す方策について検討、協議しました。</p>
第2回 学内研修会	<p>『この授業は為になる!!』発表会-「私たちはこの授業でここが成長した」事柄を学生自身が発表／平成 29 年 7 月 19 日、教職員 49 名、学生 19 名</p> <p>「学生が主体的に取り組んでいる」「学生の主体性を引き出す」授業の事例を共有することで、平準化をはかり全学的な教育力の向上を図りました。実際に取組んだ学生自身が紹介することで、自身の振り返り、学びポイントの自覚を深める機会としても有意義な機会でした。</p>
第3回 学内研修会	<p>障がい学生支援に関する講演／平成 29 年 11 月 1 日、教員 69 名</p> <p>多様な学生が在籍する本学の、特に発達障害を抱える学生への具体的支援について理解を深めました。教員一人ひとりが障がいの特性を理解し、それぞれに現場でどのような対応をすればよいか、対応力の向上と支援方法の策定に向けて意見交換しました。</p>
第4回 学内研修会	<p>学生参加 FD カフェ「さんまるカフェ～行列のできる芸工相談所」／平成 29 年 11 月 22 日、教員 17 名、学生 33 名</p> <p>学生と教員が、授業や大学教育について気軽に話し合う機会としてカフェを開催しました。学生の様々な声を聴き取り、アンケートなどでは汲み取れない事柄について理解しつつ、課題点を持つ教員からアドバイスする機会にもなり、学生の主体を引き出す成果も見られました。</p>
第5回 学内研修会	<p>「教員用授業ガイドをつくる」／平成 29 年 12 月 13 日、教職員 20 名</p> <p>教育成果を同じ方向に推し進めることを目的に、授業運営、授業設計等における諸事項、教育上のスタンスや授業運営上のポイント、学生に対する意識や認識、対応などの平準にむけて、課題抽出や具体方策を話し合い、将来的にまとめて学内で共有していける資料集作成に取り組み始めました。</p>
授業改善アンケート	<p>平成 29 年度 「授業改善アンケート」を実施</p> <p>前期・後期それぞれに、開講した全科目について、受講学生による授業運営に関するアンケートを実施し、学内共有、担当教員へのフィードバック等授業改善と教育力向上にむけた FD 活動への展開などに活用しました。</p>

<p>学修・生活アンケート</p>	<p>平成 30 年 1 月「学修・生活アンケート」を実施  本学生の学習への意欲、学生としての意識、生活状況等を把握し、教育内容や学習環境、学生生活の改善にむけアンケートを実施しました。  調査は、本学生専用の学内学修 WEB サイトの回答システムを活用し、全学生の 61%から 53 項目への回答を得て、改善活動に活かしています。</p>
<p>FDネットワークつばさ</p>	<p>東日本に所在する国公立大学で組織・連携する“FDネットワーク“つばさ”に参画し、授業改善、カリキュラム・教育制度改革などについて取り組んでいます。  9 月 大学間連携 SD 研修として事務局職員が「学生獲得のための大学職員の企画力と行動力」をテーマとした研修会に参加し、教員との協働にむけてスタッフの能力向上に努めました。  1 月 学生が取り組んだ授業の、自ら学びの目標を設定し活動した結果について発表し、学生自身の振り返りと学びを深めることにつながり、参加した教職員は他大学の事例をから今後の学習への視座を得る機会となりました。</p>
<p>教務事務の改善</p>	<p>8 月 宮城県地区私立大学教務事務研究協議会(15 大学・短大で組織)に参加し、カリキュラム・学生支援・関係法令改正対応などについて、教務事務を担当する職員が毎年定期的に研究、協議を重ねています。</p>